

## システムアーキテクト 解答例

【午 後 I】

問 1 (配点 50 点)

設問 1 (18 点:(1)4 点, (2)5 点, (3)受講者 4 点, タイミング 5 点)

- (1) 開催 5 週間前に受講者に案内メールを送付する。
- (2) 昇進者への内示後速やかなタイミングで案内メールを送付する。
- (3) (受講者) 発令で所属や役職が変わる受講者  
(タイミング) 講座開催日から 3 営業日以内に発令される場合

設問 2 (22 点:(1)5 点, (2)3 点×4, (3)5 点)

- (1) 目標設定面談の場で目標管理システムで講座の受講申込ができる。
- (2) a : 専門分野                                      b : レベル(a と b は順不同)  
c : 修了履歴                                         d : 講座番号
- (3) 当該社員のデータと正確に結びつけ管理すること

設問 3 (10 点:機能 5 点, 不具合の内容 5 点)

- (機能) 受講管理システムで年間受講日数一覧表を出力する機能  
(不具合の内容) 講座の改廃や講座日数の変更があった場合に正しい日数が出力されない。

問 2 (配点 50 点)

設問 1 (7 点)

文書登録者の上司が文書の内容を確認し承認する機能

設問 2 (7 点)

年度初め 2 か月間に年間の開示請求件数の約半数が集中している。

設問 3 (15 点:(1)8 点, (2)7 点)

- (1) 開示請求者の訪問が不要で、開示請求対応業務の事務負担も軽減できるから
- (2) 新システムと社内システムの連携頻度を減らしたいから

設問 4 (21 点:(1)7 点, (2)7 点, (3)7 点)

- (1) 必要に応じて情報提供先に電話で連絡したい。
- (2) 初めての利用でも手順が簡単で即時に文書を取得できること
- (3) ショートメッセージサービスを利用できない事業者が多いから

問 3 (配点 50 点)

設問 1 (16 点:(1)チェック内容 5 点, 業務上の理由 4 点, (2)情報 3 点, 利用目的 4 点)

- (1) (チェック内容) 発行依頼されたリース車両の自動車登録番号が登録されていないこと  
(業務上の理由) リース車両に対して利用中のカードがない確認のため
- (2) (情報) 顧客のリース契約満了日  
(利用目的) カードの有効期限年月を抽出する。

設問 2 (19 点:(1)(属性 3 点, 抽出条件 4 点)×2, (2)5 点)

- (1) ① (属性) カード状態  
(抽出条件) 値が“利用中”になっている
- ② (属性) 初回カード発行日  
(抽出条件) 発行した月が請求対象の月と同じである
- (2) 発行理由が“磁気不良”または“破損”であるカード

設問 3 (15 点:(1)情報 4 点, データ 4 点, (2)7 点)

- (1) (情報) 顧客の営業日  
(データ) 利用日がカード番号に該当する顧客の営業日でないデータ
- (2) 自動車登録番号が参照したカードデータの自動車登録番号と一致しないデータ

問 4 (配点 50 点)

設問 1 (20 点:(1)4 点×2, (2)6 点, (3)6 点)

- (1) ① T クレーンの手動運転
- ② コンテナ運搬車の利用
- (2) 横方向の運搬は NCT キャリアが行い, T クレーンは縦方向の多段積みを行う。
- (3) NCT キャリアへの荷役以外は, T クレーンを完全自動化できるから

設問 2 (12 点:(1)6 点, (2)6 点)

- (1) 到着予定時刻の積替えゲート混雑予測状況
- (2) トレーラ連結車の位置・速度などの走行状態データ

設問 3 (18 点:(1)6 点, (2)6 点, (3)6 点)

- (1) 荷役スケジュール組替えの高頻度化
- (2) 蓄積されるデータで学習するので予測精度が向上する。
- (3) 複数の NCT キャリアに, 互いに衝突しない走行ルートと出発時刻を指示する。

以上